

Made in Japan: 400 Years of Nambu Tekki Ironware

江戸の茶室で、
パリのカフェで、
愛されて。



メイド・
イン・
ジャパン
南部鉄器
400年の歴史
伝統から現代まで、



2014 **1.11 sat** → **3.23 sun**

休館日：水曜日 開館時間：午前10時より午後6時まで（ご入館は午後5時30分まで） 入館料：一般 700円、65歳以上 600円、大学生 500円、中・高校生 200円、小学生以下無料

※障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。◎本展の収益金の一部は、岩手県の東日本大震災復興支援に使われます。

主催：パナソニック 汐留ミュージアム、朝日新聞社 協力：南部鉄器協同組合 企画協力：アートプランニングレイ 後援：港区教育委員会

展覧会会場

パナソニック 汐留ミュージアム
ルオーギャラリー

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ：N T Tハローダイヤル 03-5777-8600
panasonic.co.jp/es/museum

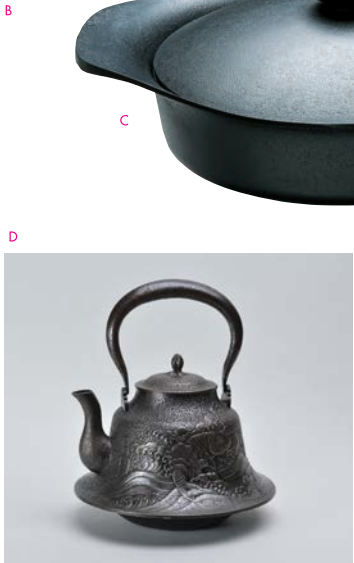
Shiodome
Museum
ROYALTY GALLERY

THANKS
10TH
ANNIVERSARY

Made in Japan: 400 Years of Nambu Tekki Ironware



自然とのかかわりや手仕事を大切にすライフスタイルがますます支持されるなか、岩手の豊かな大地が育んだ南部鉄器がいま、静かに注目を集めています。きっかけは、フランスやベルギーのハイセンスなティーサロンに、海外輸出用の南部鉄器のカラフルなティーポットが選ばれたことでした。各工房からは新しい感性による作品が次々と誕生し、また、南部鉄器に魅了されたデザイナーからの提案も人気作を生んでいます。日本を代表するプロダクトデザイナー柳 宗理(1915-2011)による南部鉄器のキッチンツールは、聖火台や陸橋など鉄を素材とする工業デザインを、都市のスケールにまで展開した柳ならではの名作といえましょう。歴史的には、現在の岩手県北部を治めていた藩主南部家が、17世紀半ば、盛岡に築城してから街づくりや文化振興に努めるなかで、鑄物師や釜師を京都などから招き、仏具や兵具はもとより茶の湯釜をつくらせたのが興りです。次第に各大名への贈り物として重宝され、特産品となりました。近代化の中で浮き沈みはありつつも、400年間以上研鑽を積み、奥州市水沢地区のもうひとつの鑄物のふるさととともに、1975年には国の「伝統的工芸品」の指定を受けました。質実剛健でぬもりが感じられ、伝統的技法にこだわりながら、欧米で評価される「made in Japan」の南部鉄器—21世紀の新しい生活への提言を秘めた、その真価がいま見直されています。本展は、第一線のクリエイターが手がける空間とのかかわりもご覧いただきながら、選りすぐられた作品の数々をご堪能いただけます。



A 宮 昌太郎 釜定工房2代目《オーナメント 鳥》1965年 B 宮 伸穂 釜定工房3代目+内田 繁《四方切合》2001年、釜定蔵、撮影：桜井ただひさ C 柳 宗理《南部鉄器 浅銅 鉄蓋付》2003年（メーカー：佐藤商事） D 9代藤田萬蔵 孝保《波に鯉文富士形鉄瓶》（背面）明治時代、盛岡市遺跡の学び館蔵 E アンジャンテ・ジャポン《南部鉄器カラーポット、ポット敷き CAMOMILLE》2009年（製造：岩鑄） F 15代鈴木盛久 熊谷志衣子《櫛目丸形鉄瓶》1991年、南部鉄器協同組合蔵 G 内田 繁 茶室《行庵》1993年 内田デザイン研究所蔵 撮影：Nacasa & Partners Inc.

展覧会記念講演会「南部鉄器のいま」

出演：内田 繁（インテリアデザイナー）、宮 伸穂（釜定工房三代目）
2月11日（火・祝）13:30～14:30（開場13:00）／当ビル5階ホール／要予約（定員150名）
●製法を守り伝え深めながら、時代とともに革新を続けるつくり手たち。南部鉄器のいまとこれからの展開についてお話しいたします。

遠野のお話し会「ふるさとことばは心をつなぐ」

出演：細越雅子（遠野の語り部）
2月15日（土）13:30～15:00（開場13:00）／当ビル5階ホール／要予約（定員150名）
●南部鉄器のふるさと、いわての大地と暮らした昔話を遠野ことばで語っていただきます。子供から大人までご参加いただけます。

【申込方法】ハローダイヤル（03-5777-8600）でお申込ください。①希望イベント名②氏名③住所④電話番号を承るほか、簡単なアンケートにご協力いただきます。申込受付開始は12月1日。受付は先着順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。（受付時間 8:00～22:00）
※お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講目的でのみ使用します。なお、お預かりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。※定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。※聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

●本展の収益金の一部は、岩手県の東日本大震災復興支援に使われます。

【次回予告】「フランス印象派の陶磁器 1866-1886 ジャポニズムの成熟」2014年4月5日（土）→6月22日（日）



〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1
パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ／NTTハローダイヤル 03-5777-8600
<http://panasonic.co.jp/es/museum>
【交通のご案内】JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分
表写真：《南部鉄器カラーポット、ポット敷き KIKU》
2008年 アンジャンテ・ジャポン（製造／岩鑄）

ショールームコラボイベント「南部鉄器でいただく極上のお茶」

講師：小方奈緒（日本茶専門店 茶倉 SAKURA 主宰）
3月9日（日）11:00～12:00／B1階セミナールーム／要予約、費用無料
お問い合わせ・申し込み／Tel.03-6218-0010
●南部鉄瓶で沸かしたお湯は味がまろやかになり、日本茶や紅茶が美味しくなるといわれます。とびきり美味しいお茶のいれ方をプロにおしえていただきます。

学芸員によるギャラリートーク

1月17日（金）、2月1日（土）、3月7日（金）各14:00～／予約不要、参加無料（本展の観覧券が必要です）

●NHKの「ただいま、東北♥」で女優の綾瀬はるかさんが制作した南部鉄器を特別参考出品。綾瀬さんが盛岡の工房を訪ねた旅の様もご紹介します。

